

平成29年度
保健所年報
(平成30年度版)



三重県熊野保健所

〒519-4324 熊野市井戸町 383 番地

総務企画課 【TEL】 0597-85-2158

健康増進課 【TEL】 0597-89-6115

衛生指導課 【TEL】 0597-85-2159

【FAX】 0597-85-3914(共通)

【E-mail】 khoken@pref.mie.lg.jp

【URL】 <http://www.pref.mie.lg.jp/KHOKEN/HP/>

<丸山千枚田>



夏は田植えに虫送り、秋は稲刈りと豊かな実りを体験できます。

<木津呂>



まるで円盤のようなこの地形は、自然にできたものです。
ほかに見ることはできない唯一無二の絶景です。

目 次

管内概況

1 熊野保健所の沿革	1
2 熊野保健所の位置図及び平面図	3
3 熊野保健所の組織及び業務概要	4
4 健康相談等の日程	5
5 人口動態統計	6

みえ県民カビジョン

みえ県民カビジョン・第二次行動計画における事業実績

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

施策112 防災・減災対策を進める体制づくり

基本事業11204 災害医療体制の整備

1 災害医療体制強化推進事業	12
2 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業	13

施策121 地域医療提供体制の確保

基本事業12102 医療分野の人材確保

1 保健師活動状況	14
2 保健所実習指導	14
3 1日看護体験	14
4 紀南病院研修医研修	14

基本事業12103 救急医療等の確保

1 地域救急医療対策事業	15
--------------	----

基本事業12104 医療安全体制の確保

1 医務	16
------	----

施策124 こころと身体の健康対策の推進

基本事業12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

1 健康づくり総合推進事業	18
2 健康食育推進事業	18
3 栄養施行事務事業	19

基本事業12403 こころの健康づくりの推進

1 自殺防止対策事業	21
------------	----

基本事業12404 難病対策の推進

1 原子爆弾被爆者対策事業	23
2 指定難病治療研究事業	24
3 難病在宅ケア事業	25
4 肝炎治療特別促進事業	26
5 骨髄バンク	26

施策131	障がい者の自立と共生	
	基本事業13105 精神障がい者の保健医療の確保	
	1 精神保健医療対策 27
	基本事業13106 障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり	
	1 障がい者地域生活推進事業 29
施策144	薬物乱用防止と動物愛護の推進等	
	基本事業14401 薬物乱用防止対策の推進	
	1 不正大麻・けし対策 31
	2 薬物乱用防止対策 31
	基本事業14402 人と動物との共生環境づくり	
	1 犬・猫の収容、返還、処分、譲渡に関すること 32
	2 苦情・相談受付状況と普及啓発事業の実施状況 33
	3 動物取扱業の登録及び特定動物の飼養許可 33
	基本事業14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保	
	1 薬事 34
	2 献血推進 35
	基本事業14404 生活衛生営業の衛生確保	
	1 生活衛生 36
施策145	食の安全・安心の確保	
	基本事業14501 食の安全・安心の確保	
	1 食品衛生 37
施策146	感染症の予防と拡大防止対策の推進	
	基本事業14601 感染予防のための普及啓発の推進	
	1 結核・感染症発生動向調査事業 39
	基本事業14602 感染症危機管理体制の整備	
	1 防疫対策事業 40
	基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進	
	1 エイズ対策 42
	2 結核対策事業 43
	3 結核医療 45
	4 結核健康診断補助金 45
第2節	「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～	
施策232	結婚・妊娠・出産の支援	
	基本事業23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実	
	1 母子医療給付事業 46
	2 健やか親子支援事業 47

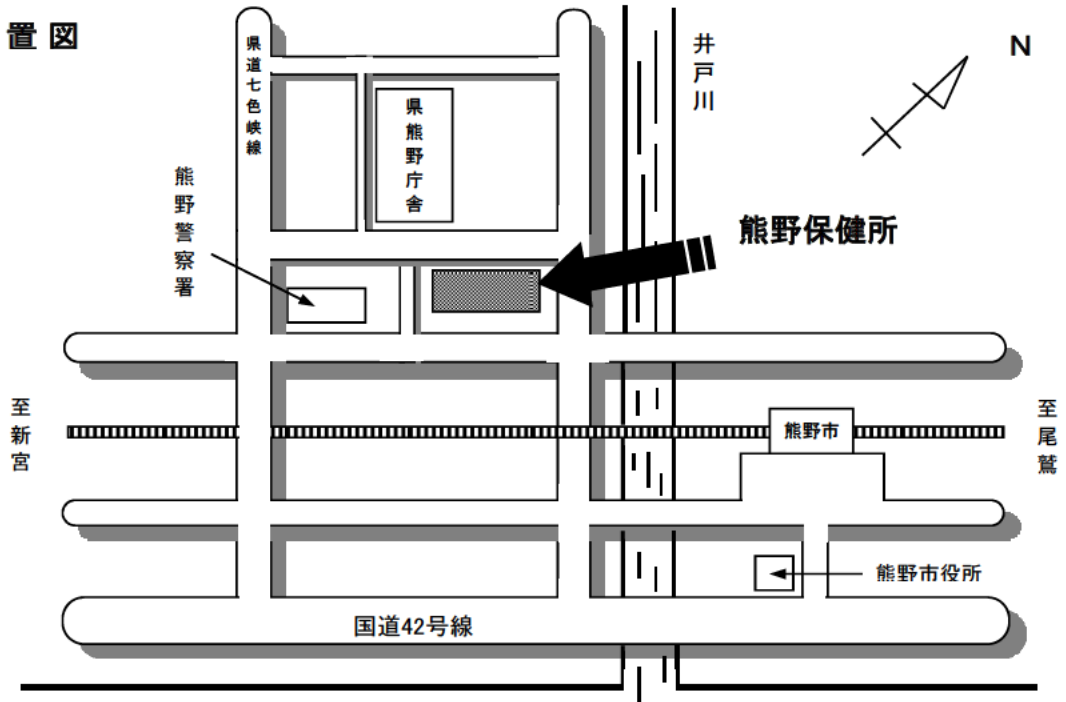
1 熊野保健所の沿革

昭和 19 年 11 月	南牟婁郡（21ヶ町村）を管轄区域とする三重県木本保健所が木本町 1538 番地に開設
昭和 22 年 5 月	警察衛生事務の保健所移管にともない、木本及び鵜殿両警察署より関係事務の引継ぎ完了
昭和 23 年 11 月	保健所に課制が施行され、総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置
昭和 25 年 6 月	南牟婁郡木本町赤坂 695-14（借地）及び有井村大字井戸 794-3 に庁舎新築
昭和 29 年 6 月	管内北輪内村、南輪内村が尾鷲市に合併し、尾鷲保健所管轄区域となる
昭和 29 年 11 月	庁訓第 702 号により名称を熊野保健所と改称
昭和 35 年 8 月	次長制実施
昭和 45 年 2 月	熊野市井戸町井土 383（井戸川右岸）において、新庁舎建設工事着工
昭和 45 年 8 月	新庁舎竣工
昭和 45 年 9 月	新庁舎移転完了、業務開始
昭和 49 年 8 月	冷暖房設備完了
昭和 50 年 11 月	犬舎増築、庁舎前庭整備
昭和 51 年 4 月	機構改革により環境課新設 衛生課を衛生指導課に改称
平成 5 年 4 月	保健婦室を保健指導課に改称
平成 7 年 4 月	身体障がい者用便所及び玄関の自動ドア並びにスロープの設置
平成 9 年 4 月	機構改革により、保健予防課、保健指導課を廃し、企画調整課、地域保健課を新設 庁舎内に「紀南健康長寿推進協議会」事務局が設置される（3 名体制）
平成 10 年 4 月	機構改革により、熊野保健所、紀南福祉事務所及び児童相談業務の組織の統合がなされ、紀南県民局保健福祉部として発足する。 従来の課制がグループ制に改正され、4 グループが組織される〔企画総務 G、健康増進 G、福祉保健 G、衛生検査 G〕
平成 13 年 4 月	健康診断、検査業務の廃止、衛生検査グループを衛生指導グループに改称
平成 14 年 4 月	チーム制の導入により、紀南保健福祉部に福祉相談チーム〔経営支援 G、生活支援 G、子育て支援 G〕、保健衛生チーム〔計画調整 G、健康増進 G、衛生指導 G〕を設置し、部長、チームマネージャー、グループリーダーを置く（保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する）
平成 15 年 4 月	グループの統合・改称により福祉相談チーム〔経営企画 G、生活・子育て支援 G〕、保健衛生チーム〔健康増進 G、衛生指導 G〕が組織される
平成 16 年 4 月	室制の導入により、福祉相談室〔経営企画 G、生活・子育て支援 G〕、保健衛生室〔健康増進 G、衛生指導 G〕を設置

- 平成 17 年 4 月 保健と福祉の事務機能の純化及び児童相談所のセンター化により、福祉相談室が企画福祉室〔企画市町村支援G、福祉G〕に改称し、精神、特定疾患業務が保健衛生室に移行、児童相談業務が分離され、紀州児童相談所駐在を設置
- 平成 18 年 4 月 機構改革により、県民局が廃止され、熊野保健福祉事務所として単独地域機関となる福祉相談室〔企画課、福祉課〕と保健衛生室〔健康増進課、衛生指導課〕の組織となり、紀南健康長寿推進協議会事務局の庁舎内設置は継続
紀州児童相談所駐在の廃止
- 平成 20 年 4 月 「紀南健康長寿推進協議会」事務局の庁舎内設置の廃止
- 平成 20 年 12 月 附属棟を紀州家畜保健衛生所に所属替え
- 平成 20 年 12 月 改修した検査室を栄養指導室に用途変更
- 平成 25 年 4 月 機構改革により、熊野保健福祉事務所が廃止され、熊野保健所、紀南福祉事務所として、単独地域機関となる

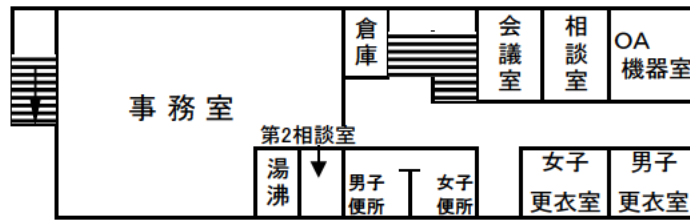
2 熊野保健所の位置図及び平面図

(1) 位置図

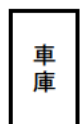
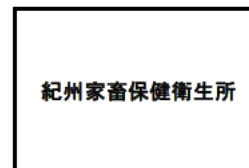
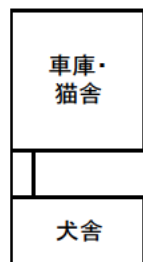
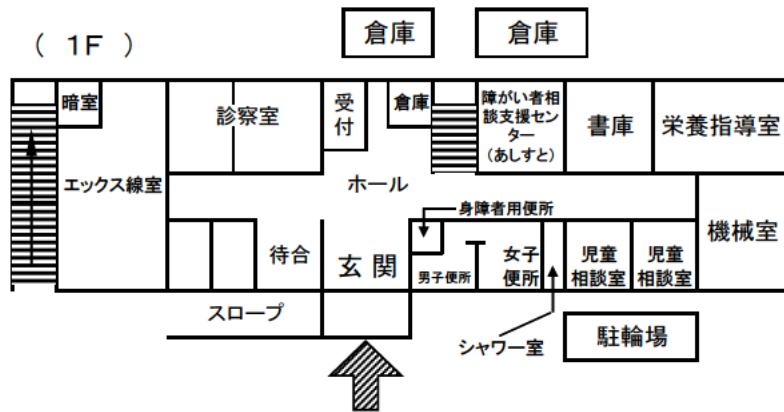


(2) 平面図

(2F)



(1F)



3 熊野保健所の組織及び業務概要 (平成29年度体制)

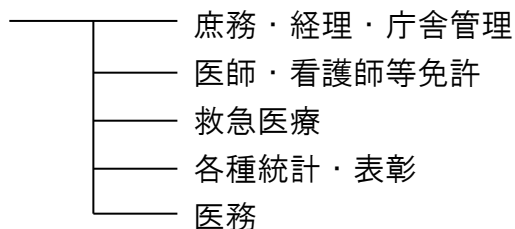
(1) 職員組織及び事務分掌

◎所長 (尾鷲保健所兼務)

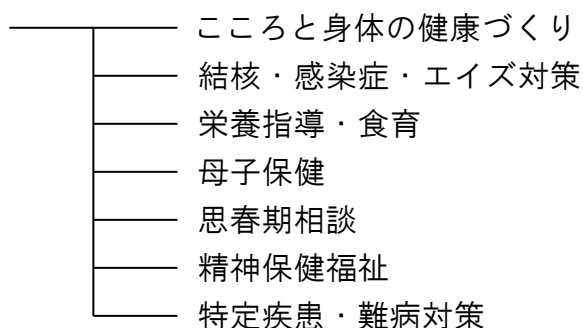
保健衛生室

◎副所長兼保健衛生室長

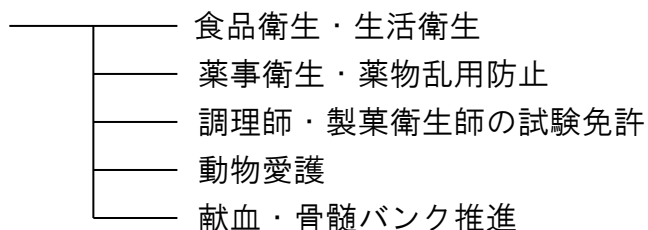
○総務企画課
(4名)



○健康増進課
(6名)



○衛生指導課
(3名)



(2) 職種別職員数

(医師1名)、獣医師2名、薬剤師2名、管理栄養士1名
診療放射線技師1名、保健師4名、一般事務職4名

4 健康相談等の日程

平成 29 年 4 月 1 日現在

項	目	実 施 日	受 付 時 間	内 容
エイズ	抗体検査	毎月第 2・4 火曜日 原則予約制です。	午後 1:30～午後 2:30	採血
	相 談	毎週月～金曜日	午前 8:30～午後 5:00	相談
骨 髄 バ ン ク 登 録 受 付		毎月第 4 火曜日	予約が必要です。	登録手続 採血
覚 せ い 剤 等 相 談		毎週月～金曜日	午前 8:30～午後 5:00	相談 啓発資材貸出
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約はお電話でお願いいたします。 ・ エイズ検査は無料・匿名で受けられますが、証明書（有料）が必要な方は実名での検査となります。 ・ 祝日などの関係で日程等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。 				

5 人口動態統計

(1) 人口・世帯数・面積

平成 29 年 10 月 1 日現在

市 町	世 帯 数	人 口			面 積 (k m ²)	人口密度 (人/k m ²)
		総 数	男	女		
管 内	16,703	36,096	16,634	19,462	541.10	66.7
熊 野 市	7,985	16,777	7,674	9,103	373.35	44.9
御 浜 町	3,800	8,424	3,918	4,506	88.13	95.6
紀 宝 町	4,918	10,895	5,042	5,853	79.62	136.8
三 重 県	731,295	1,798,886	876,318	922,568	5774.41	311.5

推計人口（月別人口調査結果：三重県）

(2) 年齢区分別人口と諸指標

平成 29 年 10 月 1 日現在

市 町	年齢区分別人口			年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
	0～14 才	15～64 才	65 歳以上				
管 内	3,907	17,755	14,389	22.0	81.0	103.0	368.3
熊 野 市	1,679	7,898	7,180	21.3	90.9	112.2	427.6
御 浜 町	944	4,170	3,308	22.6	79.3	102.0	350.4
紀 宝 町	1,284	5,687	3,901	22.6	68.6	91.2	303.8
三 重 県	225,572	1,038,001	515,596	21.7	49.7	71.4	228.6

推計人口（月別人口調査結果：三重県）

(注)

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少（15才未満）人口}}{\text{生産年齢（15～64才）人口}} \times 100 \quad \text{従属人口指数} = \frac{\text{年少+老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年（65才以上）人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100 \quad \text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

※（1）の人口の総数には年齢不詳を含む。

(3) 管内年次別人口動態件数および率の推移

平成 29 年確定数

年	人 口	老年化 指 数	出 生		死 亡		乳児死亡		死 産		婚 姻		離 婚	
			実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
18	43,781	232.4	305	7.0	556	12.7	0	0	5	16.1	173	4.0	98	2.2
19	43,303	244.4	289	6.6	580	13.3	1	3.5	11	36.1	177	4.1	87	2.0
20	42,563	256.9	296	7.0	603	14.2	0	0	0	0	171	4.0	74	1.7
21	41,877	263.4	259	6.2	586	14.0	1	3.9	11	42.5	172	4.1	86	2.1
22	41,273	274.4	272	6.6	584	14.1	0	0	5	18.1	148	3.6	86	2.1
23	40,394	279.3	255	6.2	625	15.3	1	3.9	6	23.0	149	3.6	70	1.7
24	39,921	284.7	239	6.0	628	15.7	2	8.4	7	28.5	139	3.5	78	2.0
25	39,231	296.6	240	6.1	641	16.3	0	0	2	8.3	158	4.0	48	1.2
26	38,138	327.1	220	5.8	661	17.3	0	0	4	17.9	128	3.4	49	1.2
27	37,270	342.9	233	6.3	627	16.8	2	8.6	4	16.9	157	4.2	57	1.5
28	36,730	355.1	217	6.3	591	16.1	0	0	2	8.5	136	3.7	54	1.5
29	36,096	368.3	202	5.6	670	18.6	1	5.0	7	34.7	108	3.0	58	1.6

(注) 出生、死亡、婚姻、離婚率は人口 1,000 人対 乳児死亡率は出生 1,000 人対 死産率は出生 1,000 人対

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(4) 人口動態件数及び率

平成 29 年確定数

市 町	出 生				低体重児 (再)	死 亡			
	総 数	男	女	率		総 数	総 数	男	女
管 内	202	107	95	5.6	18	670	312	358	18.6
熊 野 市	99	51	48	5.9	10	346	168	178	20.6
御 浜 町	39	20	19	4.6	4	166	73	93	19.7
紀 宝 町	64	36	28	5.9	4	158	71	87	14.5
三 重 県	12,663	6,490	6,173	7.2	1,172	20,531	10,468	10,063	11.6

(注) 出生、死亡率は人口 1,000 人対

平成 29 年確定数

市 町	乳 児 死 亡			新生児死亡（再掲）			死産	周産期死亡（再掲）		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数	満22週 以後の 死 産	早 期 新生児 死 亡
管 内	1	1	-	1	1	-	7	3	3	-
熊野市	1	1	-	1	1	-	3	1	1	-
御浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紀宝町	-	-	-	-	-	-	4	2	2	-
三重県	18	8	10	10	4	6	268	45	36	9

平成 29 年確定数

市 町	婚 姻		離 婚		自 然 増 加		合計特殊出生率
	総 数	率	総 数	率	総 数	率	
管 内	108	3.0	58	1.6	-468	-13.0	1.81
熊野市	50	3.0	26	1.6	-247	-14.7	2.14
御浜町	26	3.1	15	1.8	-127	-15.1	1.67
紀宝町	32	2.9	17	1.6	-94	-8.6	1.55
三重県	7,937	4.5	2,784	1.6	-7868	-4.5	1.49

（注）婚姻、離婚率は人口 1,000 人対

自然増加数＝年間出生数－年間死亡数

自然増加率＝ $\frac{\text{自然増加数}}{\text{平成 29 年 10 月 1 日現在の人口}} \times 1,000$

合計特殊出生率は女子の年齢別出生率の合計で 1 人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生む平均こども数をあらわす。

(5) 出生総数・性別・体重

平成 29 年確定数

	総数	性別		1000g 未満		1000～1499g		1500～1999g		2000～2499g		2500～2999g		3000～3499g		3500～3999g		4000～4499g		4500g 以上		不詳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管内	202	107	95	1	-	-	-	1	2	6	8	38	46	49	30	11	8	1	-	-	-	-	1
熊野市	99	51	48	1	-	-	-	1	2	1	5	16	23	29	14	3	3	-	-	-	-	-	1
御浜町	39	20	19	-	-	-	-	-	-	3	1	7	14	4	4	6	-	-	-	-	-	-	-
紀宝町	64	36	28	-	-	-	-	-	-	2	2	15	9	16	12	2	5	1	-	-	-	-	-

(6) 母の年齢別出生数

平成 29 年確定数 (三重県)

	総数	第 1 子	第 2 子	第 3 子	第 4 子	第 5 子以上
総数	12,663	5,757	4,764	1,673	365	104
15 歳未満	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	140	128	11	1	-	-
20～24 歳	1,202	781	368	47	6	-
25～29 歳	3,602	2,069	1,161	313	48	11
30～34 歳	4,558	1,763	1,856	734	159	46
35～39 歳	2,556	807	1,114	483	117	35
40 歳以上	605	209	254	95	35	12
不詳	-	-	-	-	-	-

(7) 主要死因別死亡者数及び死亡率（人口10万人対）

平成29年確定数

死 因	管 内		熊 野 市		御 浜 町		紀 宝 町	
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率
総 数	670	1856.2	346	2062.3	166	1970.6	158	1450.2
悪 性 新 生 物	172	476.5	101	602.0	45	534.2	26	238.6
心 疾 患（高 血 圧 性 を 除 く）	111	307.5	49	292.1	28	332.4	34	312.1
脳 血 管 疾 患	48	133.0	26	155.0	10	118.7	12	110.1
肺 炎	36	99.7	18	107.3	10	118.7	8	73.4
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	6	16.6	4	23.8	-	-	2	18.4
肝 疾 患	8	22.2	6	35.8	2	23.7	-	-
腎 不 全	13	36.0	3	17.9	2	23.7	8	73.4
大 動 脈 瘤 及 び 解 離	9	24.9	3	17.9	2	23.7	4	36.7
高 血 圧 性 疾 患	-	-	-	-	-	-	-	-
糖 尿 病	7	19.4	2	11.9	3	35.6	2	18.4
老 衰	77	213.3	34	202.7	22	261.2	21	192.7
ア ル ツ ハ イ マ ー 病	5	13.9	5	29.8	-	-	-	-
精 神 及 び 行 動 の 障 害	10	27.7	8	47.7	-	-	2	18.4
不 慮 の 事 故	19	52.6	7	41.7	3	35.6	9	82.6
自 殺	9	24.9	5	29.8	2	23.7	2	18.4
そ の 他	1	2.8	1	6.0	-	-	-	-

(注) 死亡率は人口100,000人対

$$\text{死亡率} = \frac{\text{死因別死亡者数}}{\text{平成29年10月1日現在の人口}} \times 100,000$$

(8) 悪性新生物部位別死亡者数

平成 29 年確定数

	管内		熊野市		御浜町		紀宝町	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	88	84	53	48	24	21	11	15
口唇、口腔及び咽頭	2	1	1	1	1	-	-	-
食道	2	-	2	-	-	-	-	-
胃	11	8	8	5	1	2	2	1
結腸	11	12	6	8	4	2	1	2
直腸S状結腸移行部及び直腸	4	5	3	3	1	1	-	1
肝及び肝内胆管	3	3	2	2	1	1	-	-
胆のう、その他の胆道	3	3	1	1	1	1	1	1
膵	9	13	6	9	3	2	-	2
気管・気管支及び肺	15	9	9	4	2	2	4	3
皮膚	-	1	-	-	-	1	-	-
乳房	-	3	-	1	-	1	-	1
子宮	-	4	-	4	-	-	-	-
卵巣	-	2	-	1	-	-	-	1
前立腺	9	-	8	-	-	-	1	-
膀胱	5	-	1	-	2	-	2	-
中枢神経系	-	-	-	-	-	-	-	-
悪性リンパ腫	4	6	2	2	2	3	-	1
白血病	-	2	-	1	-	1	-	-
その他のリンパ組織、造血組織 及び関連組織	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	9	11	3	5	6	4	-	2

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

施策112 防災・減災対策を進める体制づくり

基本事業11204 災害医療体制の整備

(主担当：総務企画課、衛生指導課)

取組内容

- 1 関係機関と連携し、災害時の医療提供体制の確保を図ります。
- 2 災害用医薬品の備蓄・供給体制を確保します。

1 災害医療体制強化推進事業

(1) 平成29年度紀南地域災害医療対策会議の開催

第1回

開催日：平成29年4月20日(木)

場 所：県熊野庁舎 1階 101会議室

内 容：委員の変更について

災害時における連絡手段について

第2回

開催日：平成29年10月26日(木)

場 所：県熊野庁舎 1階 101会議室

内 容：平成29年台風21号の被災状況について(情報共有)

災害時における歯科関係の備蓄について

災害時における連絡手段について

(2) 災害拠点病院の指定

指定状況：平成29年8月22日に紀南病院が「災害拠点病院」に指定。

(3) 災害医療コーディネーターの委嘱

委嘱状況：紀南病院2名、紀南医師会3名に委嘱。

(4) 広域災害救急医療情報システム(EMIS)への参加

参加状況：管内病院のEMIS参加率は100%。(紀南病院、熊野病院)

2 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業

(1) 医薬品等の備蓄事業

紀南地域において発災時に必要な医薬品を速やかに供給できるよう、熊野保健所に外科系医薬品及び衛生材料を備蓄している。

医薬品 27 薬効 42 品目

衛生材料 13 分類 42 品目

内科系救急医薬品は災害拠点薬局を指定し、備蓄している。

熊野地域災害拠点薬局：紀南調剤薬局

医薬品 27 薬効 38 品目

(2) 県域を越えた協力体制の整備

「紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定に基づく医薬品等供給実施細目」

激甚災害により主要幹線道路が寸断されると医薬品等の供給が迅速に進まなくなるおそれがあるため、近隣県と協定を結び災害時に備えている。

施策121 地域医療提供体制の確保
 基本事業12102 医療分野の人材確保
 (主担当：総務企画課、健康増進課)

取組内容

- 1 県民の要望に応えられる資質の高い保健福祉職員を養成することを目的に、今日的課題に対応するため、地域特性に基づいた実務者研修会を実施します。
- 2 看護、栄養業務に従事しようとする学生に対して保健所等実習指導を実施します。
- 3 医療機関の看護職員の不足解消を図るため、1日看護体験を実施します。

1 保健師活動状況

管内保健師状況

平成29年4月1日現在

区分 市町名	熊野市	御浜町	紀宝町	保健所	管内合計
人員	7	6	8	4	25

管内統括保健師会議 3回

日時	内容	参加者数
平成29年 8月29日	災害時の保健活動、保健師人材育成について	8名
平成29年10月29日	災害時の保健活動、保健師人材育成について	6名
平成30年 3月27日	次年度の統括保健師会議及び保健師連絡会	6名

管内保健師連絡会 3回

日時	内容	参加者数
平成29年 8月29日	災害時の保健活動～受援体制の構築について	16名
平成29年10月29日	地域ケアシステムについて計画発表	14名
平成30年 3月27日	地域ケアシステムの取組についての報告	13名

2 保健所実習指導

管理栄養士学生実習

学校名	学生数	グループ数	実習日数
鈴鹿医療科学大学	5人	1	5日

3 1日看護体験

開催日：平成29年7月27日(木)、28日(金)

開催場所：紀南病院

参加人数：高校生25名

4 紀南病院研修医研修

開催日：平成29年7月21日(金)

開催場所：熊野保健所

参加人数：2名

開催日：平成29年12月19日(火)

開催場所：熊野保健所

参加人数：1名

基本事業12103 救急医療等の確保
(主担当：総務企画課)

取組内容

地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療対策整備を行います。

1 地域救急医療対策事業

熊野市及び南牟婁郡における休日または夜間の救急病患者を含む救急医療体制や、災害時における救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議をしました。

(1) 平成29年度紀南地域救急医療対策協議会

開催日：平成29年7月13日(木)

場所：県熊野庁舎 5階 大会議室

内容：委員の変更について

協議会役員を選任について

平成28年度協議会活動報告について

平成28年度協議会決算報告について

平成29年度協議会活動計画について

平成29年度協議会予算案について

(2) 平成29年度紀南地域救急医療対策協議会実務委員会

開催回数：6回

内容：災害時における通信手段の検討

「救急の日」イベント、災害時医療救護研修会についての検討 等

(3) 「救急の日」イベント(講演会)の開催

開催日：平成29年9月1日(金)

場所：御浜町中央公民館 大ホール

内容：講演「災害医療のきほん ～DMATってなんですか?～」

講師 国立病院機構災害医療センター臨床研究部政策医療企画研究室長
厚生労働省DMAT事務局次長 近藤 久禎 氏

参加者：184名

(4) ミニタウンミーティングの開催

内容：住民と地域の医療従事者との医療に関する意見交換

開催場所：10会場(熊野市内3会場、御浜町内4会場、紀宝町内3会場)

参加者数：121名(10会場合計)

基本事業12104 医療安全体制の確保
 (主担当：総務企画課)

取組内容

医療環境の整備をはかるため、情報提供、相談体制の充実を図ります。

1 医務

医療関係施設は、平成30年3月31日現在で病院2（一般病院1、精神病院1）、一般診療所39、歯科診療所19となっています。

(1) 医療関係施設数

平成30年3月31日現在

		熊野市	御浜町	紀宝町	計
病院	一般	0	1	0	1
	精神	1	0	0	1
	計	1	1	0	2
一般診療所		27	6	6	39
歯科診療所		10	3	6	19
助産所		0	0	0	0
歯科技工所		5	2	4	11
施術所		29	10	9	48

(2) 病床数（病院・診療所）

平成30年3月31日現在

		病床数
病院	一般病床	200
	療養病床	40
	結核病床	0
	感染症病床	4
	精神病床	330
	計	574
一般診療所		7

(3) 医療関係従事者数

平成 28 年 12 月 31 日現在

種 別	従事者数	種 別	従事者数
医 師	63	看 護 師	351
歯 科 医 師	20	准 看 護 師	171
薬 剤 師	40	歯 科 衛 生 士	20
保 健 師	26	歯 科 技 工 士	16
助 産 師	2	合 計	709

(注) 医師・歯科医師・薬剤師は、医師・歯科医師・薬剤師調査（隔年調査）による。
 保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士は業務従事者届
 （隔年調査）による。

(4) 管内病院の概要

平成 30 年 3 月 31 日現在

名 称	所 在 地	診 療 科 目	病 床 数
紀南病院	御浜町阿田和 4750 TEL:05979-2-1333	内科、小児科、神経内科、外科、 整形外科、脳神経外科、産婦人科、 眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、 皮膚科、放射線科、泌尿器科、 消化器内科、消化器外科、 リハビリテーション科	一般 200 療養 40 感染 4
医療法人紀南会 熊野病院	熊野市久生屋町 868 TEL:0597-89-2711	内科、精神科	精神 330

施策124 こころと身体健康対策の推進

基本事業12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者との検討会や研修を実施し支援します。
- 2 「ヘルシーピープルみえ・21」に基づき、生活習慣の適正化に向けて学校、企業、NPO等と協働で環境づくりを推進していきます。

1 健康づくり総合推進事業

(1) たばこ対策

一般住民を対象として、県熊野庁舎内1階にてたばこに関する啓発活動を行いました。

啓発活動：平成29年5月31日～6月7日

県熊野庁舎内1階熊野県民ホールにて掲示物の展示と啓発物品の配布

(2) くまの地域・職域連携推進懇話会

熊野地域固有の健康問題の特定と、地域特性を生かした健康課題の解決を図るため、地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業を推進するため、懇話会を開催しました。

開催日	場所	出席者	内容
平成29年11月21日	県熊野庁舎	11名	平成29年度活動内容について ・健康づくりに関する取組 ・メンタルヘルスに関する取組 意見交換会

(3) 健康づくり体制の整備

紀南健康長寿推進協議会への参加

協議会	1回
幹事会	3回
担当者会議	5回
作業部会	2回
事務局会議	1回
フェスティバル	1回

2 健康食育推進事業

(1) 地域栄養管理ネットワーク研究会との協働

各職域の管理栄養士・栄養士の交流及び連携を図るとともに、委員会等を通して栄養課題に向けた取り組みの検討や時事に対応した情報交換を行いました。

ア 地域栄養管理ネットワーク研究会委員会の開催

開催日	場所	出席者	内容
平成29年7月5日	県熊野庁舎	8名	平成29年度取組事項、情報交換
平成29年12月13日	県熊野庁舎	6名	研修会について、情報交換

イ 地域栄養管理ネットワーク研究会研修会の開催

開催日	場所	参加者	内容
平成 29 年 10 月 16 日	県熊野庁舎	42 名	(給食施設従事者研修会と合同開催)
平成 29 年 12 月 13 日	県熊野庁舎	18 名	講演「糖尿病及び糖尿病予備軍に対する効果的な保健指導の進め方」 講師：中野 芳恵氏

(2) 野菜フル 350 推進のための健康教育及び啓発

ア 健康教育（地区組織育成支援に再掲）

開催日	場所	対象・人数	内容
平成 29 年 5 月 22 日	熊野市保健福祉センター	熊野食生活改善推進連絡協議会員 39 名	講義「野菜フル 350 と栄養成分表示の活用で糖尿病予防」
平成 29 年 6 月 30 日	熊野市保健福祉センター	熊野食生活改善推進連絡協議会員他 20 名	講話「ロコモティブシンドロームと低栄養予防」、実習「低栄養予防～野菜もお肉もお魚も～」

イ 啓発活動 13 回/年 延べ 1,422 名

(3) 健康づくり応援の店

健康づくり応援の店登録店に対し、健康づくりに関する情報を提供するとともに啓発物品の配布を依頼し協働で県民に健康づくり情報の発信を行いました。

登録店舗数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)	延べ登録店舗数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)
14 店舗	26 店舗

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、特定給食施設等の巡回指導等を実施しました。

ア 巡回指導

平成 29 年度

施設の区分	管内給食施設数	指導数
知事指定施設	1	1
知事指定以外の特定給食施設	15	3
一般給食施設	30	4
計	46	8

イ 給食施設従事者研修会の開催

開催日	場所	参加者
平成 29 年 10 月 16 日	県熊野庁舎	給食施設従事者等 42 名
<内容> 講演 1 「給食従事者が知っておきたい腸内細菌とカラダの健康」 株式会社ヤクルト東海 YBS カンパニー 江川 美晴 氏		

講演2「新しくなった食品表示～給食従事者が確認すべきポイント～」
熊野保健所衛生指導課・健康増進課職員

(2) 人材育成・支援事業

ア 市町行政栄養士支援

実施回数	場所	対象
連絡会議 6回	熊野保健所	市町保健分野管理栄養士 3名
<主な検討内容> ・各市町栄養関係事業について ・糖負荷検査実施後の個別指導について ・災害時栄養・食生活支援活動について		

イ 地区組織育成支援（熊野地区食生活改善推進連絡協議会）

総会での講話や管理栄養士臨地実習の実践研修として、リーダー研修会を協働で開催しました。

月日	場所	人数	内容
平成29年5月22日	熊野市保健福祉センター	39名	講義「野菜フル350と栄養成分表示の活用で糖尿病予防」
平成29年6月30日	熊野市保健福祉センター	20名	講話「ロコモティブシンドロームと低栄養予防」、実習「低栄養予防～野菜もお肉もお魚も～」

ウ 地域活動栄養士支援

地域栄養管理ネットワーク研究会を活用し、随時情報提供を行いました。

(3) 健康増進法虚偽誇大広告および食品表示法（保健事項）の相談・指導

ア 個別相談・指導件数 平成29年度

虚偽誇大	食品表示（保健事項）
0	16

イ 集団指導

開催日	場所	参加者
平成29年6月20日 平成29年7月26日 平成29年9月14日 平成29年11月29日 平成30年1月30日	県熊野庁舎	食品関係事業者等 延べ24名
<内容> 食品表示法（保健事項）の表示について ～栄養成分表示・機能性表示食品・虚偽誇大広告の禁止～		

基本事業12403 こころの健康づくりの推進

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発を行います。
- 2 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1 自殺防止対策事業

(1) 自殺予防ネットワーク事業

ア 紀南地域自殺対策連絡会

日 時：平成30年1月26日(金)

場 所：県熊野庁舎 5階 大会議室

参加者：病院、熊野自殺防止センター、障がい者総合相談センター、警察署、消防、市町、こころの健康センター、児童相談所等 計20名

内 容：自殺未遂者への対応状況・支援状況について(事例検討)

イ 紀南地域自殺対策連絡会コア会議

第1回

日 時：平成29年8月7日(月)

場 所：県熊野庁舎 5階 501会議室

参加者：市町、こころの健康センター等 計8名

内 容：市町の自殺対策計画策定に向けた準備について①

第2回

日 時：平成30年2月5日(月)

場 所：熊野保健所 2階 会議室

参加者：市町、こころの健康センター等 計6名

内 容：市町の自殺対策計画策定に向けた準備について②

ウ くまの地域・職域連携推進懇話会

日 時：平成29年11月21日(火)

場 所：県熊野庁舎 5階 501会議室

参加者：事業所、商工会議所、全国健康保険協会三重支部、市町等 計12名

内 容：各機関におけるメンタルヘルスの取組について

(2) 人材育成事業

ア 自殺予防支援者研修会

日 時：平成 30 年 3 月 5 日（月）

場 所：県熊野庁舎 5 階 大会議室

参加者：病院、介護・福祉・保健・警察関係者等 計 29 名

内 容：講演「不登校・ひきこもりの家族支援」及び事例検討

講師：兵庫県立大学看護学部 准教授 船越明子氏

イ アルコール研修会

日 時：平成 29 年 7 月 28 日（金）

場 所：熊野病院 会議室

参加者：断酒会、病院、市町等 計 24 名

内 容：講義

「SBIRTS の普及のために（簡易介入法による医療及び断酒会との連携）」

(3) 自殺予防啓発事業

ア 自殺予防週間における啓発

県熊野庁舎県民ホールにおいてのぼり旗、啓発パンフレット・グッズの設置

日 時：平成 29 年 9 月 10 日～17 日

イ 自殺対策強化月間における啓発

①JR 熊野市駅ロータリーにおいて啓発用グッズの配布

日 時：平成 30 年 3 月 1 日（木）

対象者：高校生等 200 名

②県熊野庁舎県民ホールにおいてのぼり旗、啓発パンフレット・グッズの設置

日 時：平成 30 年 3 月 1 日～31 日

ウ その他の街頭啓発

①イオン熊野店・オークワ熊野店において啓発用グッズの配布

日 時：平成 29 年 8 月 8 日（火）

②鬼ヶ城センター・ウミガメ公園において啓発用グッズの配布

日 時：平成 29 年 8 月 14 日（月）

基本事業 12404 難病対策の推進

(主担当：健康増進課、衛生指導課)

取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者及びその家族のQOL（生活の質）の向上を図ります。
- 3 骨髄移植や骨髄バンク制度の普及啓発とドナー（骨髄提供希望者）登録の推進を図ります。

1 原子爆弾被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対するがん検診を実施しました。また、同法に基づく各種手当を対象者に支給しました。

(1) 定期健康診断実施状況

平成30年3月31日現在

	手帳交付数	受診者数	
		第1回	第2回
熊野市	2	1	1
御浜町	1	0	0
紀宝町	1	0	0
計	4	1	1

(2) がん検診状況

平成30年3月31日現在

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
受診者数	0	0	0	0	0	0

(3) 各種手当受給状況

平成30年3月31日現在

	医療特別手当	健康管理手当	保健手当(定額)	家族介護手当	葬祭料
熊野市	0	2	0	0	0
御浜町	0	1	0	0	0
紀宝町	0	1	0	0	0
計	0	4	0	0	0

2 指定難病治療研究事業

原因が明らかでなく治療方法が確立していない希少な疾病で、長期の療養を必要とする難病患者を支援するための医療助成制度です。

平成30年4月からは331疾患に拡大され、治療に係る医療費の公費負担を行います。

(1) 特定医療費（指定難病）受給状況

平成30年3月31日現在

	病名	人数			
		熊野市	御浜町	紀宝町	計
2	筋萎縮性側索硬化症	1	0	4	5
5	進行性核上性麻痺	2	0	2	4
6	パーキンソン病	20	20	22	62
7	大脳皮質基底核変性症	1	0	0	1
11	重症筋無力症	3	2	0	5
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	0	0	1	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	2	0	0	2
17	多系統萎縮症	2	0	2	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	3	3	2	8
19	ライソゾーム病	0	2	0	2
21	ミトコンドリア病	2	0	0	2
22	もやもや病	2	0	0	2
26	HTLV-1 関連脊髄症	0	0	1	1
28	全身性アミロイドーシス	2	0	0	2
34	神経線維腫症	0	2	0	2
35	天疱瘡	2	0	0	2
36	表皮水疱症	1	0	0	1
40	高安動脈炎	1	0	0	1
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	2
43	顕微鏡的多発血管炎	1	1	1	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	0	1	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	1	2
46	悪性関節リウマチ	0	0	2	2
49	全身性エリテマトーデス	10	3	5	18
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	6	1	1	8
51	全身性強皮症	6	1	3	10
52	混合性結合組織病	1	1	1	3
53	シェーグレン症候群	3	0	2	5
54	成人スチル病	0	1	0	1
56	ベーチェット病	3	3	4	10
57	特発性拡張型心筋症	3	4	3	10
58	肥大型心筋症	1	0	0	1
60	再生不良性貧血	0	1	0	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	3	2	1	6
66	IgA 腎症	0	1	0	1
67	多発性嚢胞腎	1	0	0	1
68	黄色靭帯骨化症	1	0	2	3
69	後縦靭帯骨化症	8	8	7	23
71	特発性大腿骨頭壊死症	3	2	0	5
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	0	1	0	1

77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	2
78	下垂体前葉機能低下症	0	0	1	1
84	サルコイドーシス	2	1	1	4
85	特発性間質性肺炎	3	2	2	7
86	肺動脈性肺高血圧症	2	0	0	2
88	慢性血栓性肺高血圧症	2	0	0	2
90	網膜色素変性症	4	2	1	7
93	原発性胆汁性肝硬変	3	2	3	8
95	自己免疫性肝炎	0	0	1	1
96	クローン病	0	1	3	4
97	潰瘍性大腸炎	19	4	10	33
111	先天性ミオパチー	0	1	0	1
113	筋ジストロフィー	1	0	0	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	1	0	0	1
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	0	0	1
271	強直性脊椎炎	1	0	0	1
300	IgG4 関連疾患	0	1	0	1
306	好酸球性副鼻腔炎	0	1	1	2
	合 計	137	74	92	303

※熊野保健所管内において受給のない疾患は掲載せず。

(2) 特定疾患医療受給状況 平成 30 年 3 月 31 日現在

病 名	人数
スモン	1

3 難病在宅ケア事業

(1) 事業の目的

難病患者及びその家族が地域で安心して生活が送れるように、保健・医療・福祉が一体となった在宅ケアシステムづくりを目指します。

(2) 対象

熊野保健所管内の難病患者とその家族及び関係者

(3) 事業実施内容

ア 医療相談事業

難病患者及び家族が専門的な相談ができる場として、難病相談会を開催しました。

日時 : 平成 29 年 12 月 1 日 (金)

場所 : 三重県熊野保健所

参加者 : 患者 2 名、家族 4 名

スタッフ : 三重大学神経内科医師 1 名、紀南病院理学療法士 1 名、保健師 2 名

イ 訪問相談事業

神経難病重症患者を中心に訪問しました。

訪問実人員 6 名、延人員 20 名

ウ 面接・電話相談

特定医療費申請の来所時や電話相談時に随時対応しました。

面接相談 延人員 27 名

電話相談 延人員 37 名

エ 難病支援者研修会

地域の難病患者に関わる支援者を中心に研修会を行いました。

日時：平成30年3月15日（木）

場所：紀宝町役場 大会議室

参加者：訪問看護師、ケアマネージャー、保健師等28名

4 肝炎治療特別促進事業

C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療に係る、医療費の助成を行いました。

平成30年3月31日現在

申請件数	20	承認件数	20
------	----	------	----

5 骨髄バンク

(1) 骨髄バンクドナー登録受付状況

定期的な登録窓口を、毎月第四火曜日に開設しています。また、より登録しやすいよう、献血推進ページメントとあわせて骨髄バンク臨時ドナー登録受付窓口を開設し、登録受付を行いました。

平成29年度登録者数 3名

(2) 普及啓発事業

愛の血液助け合い運動等献血推進ページメントの会場において、骨髄移植や骨髄バンクに関する啓発ポスターの掲示や、来場者に対して啓発資材を配布して理解を求めました。

実施日	名称	実施場所
平成29年8月21日	愛の血液助け合い運動	イオン熊野店
平成30年3月27日	スプリング献血キャンペーン	河上横町

施策131 障がい者の自立と共生

基本事業13105 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、適切な通院医療の継続を目的に障害者自立支援医療受給者証や精神保健福祉手帳の交付を行います。
- 2 休日・夜間における精神科救急に対応するため、精神科病院の輪番制による精神科救急医療体制を確保します。

1 精神保健医療対策

(1) 精神保健措置事業

ア 事業目的

医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷他害の行為を防ぎます。

イ 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況

平成 29 年度

区分	要診察		診察不要	小計
	第 29 条 該当	第 29 条 非該当		
法第 22 条申請	0	0	0	0
法第 23 条通報	1	3	2	6
法第 24 条通報	0	0	0	0
法第 26 条の 2 届出	0	0	0	0
計	1	3	2	6

管外での法第 24 条通報(参考)	0	0	0	0
-------------------	---	---	---	---

ウ 取扱措置入院患者数

平成 29 年度

区分	男	女	計
法第 29 条措置 在院者数 (平成 29 年 3 月末現在)	0	0	0
法第 29 条措置 入院者数	1	0	1
法第 29 条措置 解除者数	1	0	1
法第 29 条措置 在院者数 (平成 30 年 3 月末現在)	0	0	0

(2) 自立支援医療（精神通院医療）

ア 事業目的

精神疾患の治療のために指定医療機関に通院する人を対象に、その通院医療費の90%まで公費負担をします。

イ 自立支援医療受給者証（精神通院医療）の有効期間：1年間

ウ 自立支援医療受給者証（精神通院医療）の交付状況

平成29年度末現在

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
交付者数	248	90	118	456

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付

ア 事業目的

精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図ります。

イ 精神障害者保健福祉手帳の有効期間：2年間

ウ 市町別等級別精神障害者保健福祉手帳交付状況

平成29年度末現在

		熊野市	御浜町	紀宝町	計
障害等級	1	13	1	3	17
	2	84	29	42	155
	3	24	6	20	50
計		121	36	65	222

基本事業 13106 障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 地域精神保健福祉活動を推進するため、市町及び関係機関に対し専門的立場から技術指導及び技術支援を行います。
- 2 精神障がい者の地域生活をサポートするため、関係機関のネットワークづくりを行います。
- 3 地域住民等に対し精神障がいの正しい知識を普及啓発します。

1 障がい者地域生活推進事業

(1) 精神保健福祉相談

目的：一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療に繋げると共に、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促します。

平成 29 年度

相談の区分	精神科医師の相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設状況	2回	随時	随時	随時
相談延件数	7件	58件	55件	149件

(2) 平成 29 年度 精神保健福祉研修会（自殺予防支援者研修と合同で実施）

目的：精神障がいのある本人や家族が、安心して暮らせる地域づくりのためには、多くの仲間や関係者の理解と支援が必要となります。障がい者等が暮らしやすい地域づくりのために、熊野地域の親の会、支援関係者が交流し、学びあうことを目的として研修会を開催します。

日時：平成 30 年 3 月 5 日（月）

場所：県熊野庁舎 5 階 大会議室

内容：講演「不登校・ひきこもりの家族支援」

講師：兵庫県立大学看護学部 准教授 船越明子氏

事例検討「発達障害が疑われ、母に対する暴力があるひきこもりケースへの支援について」

対象：精神保健福祉関係支援者等 計 29 名

(3) 啓発活動

市町広報での相談等の PR

(4) 紀南地域精神保健福祉連絡会の開催

第1回

日時：平成29年9月12日(火)

場所：県熊野庁舎5階 大会議室B

目的：ひきこもりケースにおける危機対応方法の検討、及びネットワークの構築。

対象：熊野消防本部、熊野警察、紀宝警察、熊野病院、紀南病院、紀南圏域障がい者総合相談支援センターあしすと、市町精神保健福祉担当課職員及び生活困窮者支援担当課職員、こころの健康センター

出席者 計18名

内容：情報提供「国の動向について」

情報提供「熊野保健所管内のひきこもりの現状について」

講演「ひきこもりについて」

講師：こころの健康センター 楠本所長

意見交換「熊野管内の課題抽出と解決方法の検討」

第2回

日時：平成30年2月19日(月)

場所：県熊野庁舎1階 101会議室

目的：保健所及び管内の関係機関が、他機関の取組について知り、相談を受けた際に必要に応じて繋ぐことができる。

対象：事業所(B型)、社会福祉協議会、熊野警察、紀宝警察、熊野病院、紀南病院、紀南圏域障がい者総合相談支援センターあしすと、市町精神保健福祉担当課職員及び生活困窮者支援担当課職員、こころの健康センター、紀南福祉事務所

出席者 計20名

内容：「ひきこもりについての取組報告」

・家族会について

講師：つぼみの会事務局 南紀さんさんワーク 水谷施設長

・ひきこもりの調査について

講師：紀宝町社会福祉協議会 登立氏

・三重県ひきこもり地域支援センターについて

講師：こころの健康センター 西川主任

・生活困窮者支援について

講師：紀南福祉事務所 内藤所長

(5) 自立支援協議会精神部会への参加

日時：平成29年10月30日(火)

場所：熊野市役所 参加者：14名

内容：福祉サービス利用者対象のアンケート結果からわかる地域の課題の共有について

日時：平成30年2月19日(月)

場所：熊野市役所 参加者：14名

内容：アンケート結果を踏まえた来年度の取組について

施策144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
 基本事業14401 薬物乱用防止対策の推進
 (主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 不正大麻とけし栽培の取り締まりを実施します。
- 2 薬物の乱用を防止するため、街頭における啓発活動等を実施します。
- 3 麻薬及び向精神薬の適正使用と適正な管理を指導します。

1 不正大麻・けし対策

ポスター等を利用して、不正大麻やけしに関する情報提供を行い、発見と除去に努めました。

除去実績 熊野市、御浜町 けし（セティゲルム） 242本除去

2 薬物乱用防止対策

(1) 薬物乱用防止啓発活動

平成29年度

実施日	内 容	場 所	対象数
H29. 7. 5	「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で 啓発資材配布	350名
H29. 11. 5	麻薬・覚醒剤乱用防止運動 街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で 啓発資材配布	350名

(2) 麻薬等取締業務

医療機関、麻薬小売業者等への立入検査を実施し、麻薬、向精神薬、覚せい剤原料等の適正使用と適正な管理を指導しました。

麻薬関係施設数と立入検査状況

平成29年度

業態	市町				合 計	立入検査 施設数
	熊野市	御浜町	紀宝町			
麻薬診療施設	11	4	1	16	5	
麻薬小売業者	7	6	2	15	9	
合計	18	10	3	31	14	

基本事業14402 人と動物との共生環境づくり

(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 所有者不明犬の捕獲、犬・猫の引取り、負傷動物の保護を行います。
- 2 収容された犬・猫に生存の機会を設けるため適正に飼養できる飼い主に犬・猫を譲渡します。
- 3 犬による危害発生を防止するため、正しい接し方教室等を開催します。
- 4 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。
- 5 動物取扱業者の監視を実施し、施設及び動物の取扱いの適正化を図ります。
- 6 猫に関するトラブル軽減のため、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術等の支援を行います。

1 犬・猫の収容、返還、処分、譲渡に関すること

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬・猫の収容、処分等を行うとともに、飼育者に対し「正しい飼い方」についての指導・啓発を行いました。

犬による危害発生防止のため、飼い犬の係留を指導するとともに所有者不明犬の捕獲に努めました。

犬による咬傷事故届と咬傷犬検診及び再発防止対策について指導しました。

収容動物返還の際、狂犬病予防集合注射会場等で逸走防止対策及び所有者明示について指導、啓発しました。

収容された犬・猫の譲渡会を開催しました。

(1) 犬・猫の収容、処分等の状況

平成29年度

区分 年度	犬						猫				
	捕獲	引取	負傷	返還	譲渡	殺処分	引取	負傷	返還	譲渡	殺処分
平成29年度	16	10	0	8	5	13	102	15	0	65	52
平成28年度	30	25	0	12	18	25	70	16	0	13	73
平成27年度	24	11	6	7	11	23	150	24	1	19	154
平成26年度	20	10	1	17	2	12	37	12	0	5	44
平成25年度	27	18	0	10	5	30	54	8	0	0	62

(2) 犬による咬傷事故届出件数

平成29年度 4件

(3) 犬の所有者明示率

平成29年度 17.0% ※県内平均 30.3%

(4) 譲渡会の開催

第1回	平成29年8月26日	譲渡成立	犬0頭、猫2匹
第2回	平成29年10月21日	譲渡成立	犬2頭、猫1匹
第3回	平成30年1月27日	譲渡成立	犬0頭、猫0匹

2 苦情・相談受付状況と普及啓発事業の実施状況

地域住民等からの動物に関する苦情・相談に対応しました。

猫に関するトラブル軽減のため、地域住民、市町、動物愛護推進センターと協働で飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施しました。

動物愛護精神の高揚と犬による危害防止のため、犬との接し方教室、イベント会場での啓発活動等を実施しました。

動物愛護について理解や関心を深めてもらうため、小・中学生を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集しました。

(1) 犬に関する苦情受付件数

平成29年度

総数	係留義務違反 (放し飼い)	迷惑・モラル 等 (ふん・鳴き 声等)	咬傷事故	野犬捕獲依頼	飼い犬 引取り依頼	その他 [失踪照会等]
133	9	11	6	29	23	55

(2) 猫に関する苦情受付件数

平成29年度

総数	迷惑・モラル 等[糞尿]	迷惑・モラル 等[その他]	野良猫捕獲・ 引取り	負傷猫等 収容依頼	飼い猫 引取り依頼	その他 [失踪照会等]
225	14	10	38	11	14	138

(3) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術実施頭数

平成29年度

	オス	メス	合計
熊野市	22	46	68
御浜町	20	17	37
紀宝町	84	97	181

(4) 動物愛護に関する普及啓発事業の実施状況 (平成29年度)

犬との正しい接し方教室 3回開催 98名受講
 その他啓発事業 (講習会、啓発イベント等) 2回開催 81名参加

(5) 動物愛護の絵・ポスター募集点数

平成29年度 110点 (小学生 109点、中学生 1点)

3 動物取扱業の登録及び特定動物の飼養許可

(1) 第一種動物取扱業

登録数と監視指導の状況

平成29年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計	監視数
展示	0	1	1	2	2
販売	1	1	2	4	3
保管	2	0	1	3	2

動物取扱責任者研修 平成29年10月2日開催 8名受講

(2) 第二種動物取扱業者 届出施設なし

(3) 特定動物飼養許可 許可施設なし

基本事業14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保
 (主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 医薬品・医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、薬局・医薬品販売業等の監視指導を実施するとともに、調剤過誤を防止するため、薬局の自主管理体制の促進を図ります。
- 2 毒物劇物販売施設等の監視指導を行い、安全な取扱いの促進と保管管理の徹底を図ります。
- 3 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り、県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

(1) 薬事関係施設数と調査監視状況

平成29年度

業種		市町				総数	調査監視 件数
		熊野市	御浜町	紀宝町			
薬 局		7	7	2	16	5	
医薬品	卸売販売業	1	0	0	1	1	
	店舗販売業	6	2	0	8	3	
医療機器	販売業	高度	6	6	2	14	4
		管理	90	32	29	151	18
	貸与業	高度	3	1	2	6	1
		管理	6	2	3	11	1
毒物劇物	販売業	一般	6	2	0	8	2
		農業用品目	3	6	1	10	2
		特定品目	1	0	0	1	0
合計		129	58	39	226	37	

(2) 調剤過誤防止と薬局における自主管理の促進

薬局に対して、監視の際に調剤過誤防止策に焦点をあて調剤全般についての聞き取りを行うとともに、法令遵守の意識を向上させるため全薬局へ自主点検表を送付し、薬局における自主管理を促進しました。

2 献血推進

医療に要するすべての血液製剤を献血により確保できるよう、市町、血液センター等と協力し、献血思想の普及啓発に努めました。特に、輸血の安全性向上の観点から、400ml献血への理解と協力を求めました。

(1) 管内献血状況

平成29年度

市町	区分	200ml	400ml	計	献血バス 配車数
		献血者数	献血者数	献血者数	
熊野市		0	192	192	7
御浜町		0	78	78	4
紀宝町		0	90	90	2
合計		0	360	360	13

(2) 献血キャンペーン

ア 愛の血液助け合い運動街頭ページェント

平成29年8月21日 イオン熊野店において実施 献血者数 32名
ヤングミドナサポーター、熊野ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

イ スプリング献血キャンペーン

平成30年3月27日 河上横町において実施
ヤングミドナサポーター、熊野ライオンズクラブ等の協力を得て実施しましたが、システムエラーにより献血受付ができず、街頭献血は中止となりました。

基本事業14404 生活衛生営業の衛生確保
(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 理容所、美容所、クリーニング所、旅館等の生活衛生関係事業者に対し衛生講習会を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
- 2 営業施設の監視指導を行っていきます。

1 生活衛生

(1) 生活衛生関係営業施設数及び届出状況 平成29年度

業種 \ 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	合計	新規	廃止
理容所	33	12	11	56	0	2
美容所	62	14	29	105	2	3
クリーニング所	11	3	8	22	0	1
公衆浴場	10	1	1	12	0	0
興行場	2	0	0	2	0	0
旅館業	59	5	5	69	4	11
合計	177	35	54	266	6	17

(2) 監視指導状況 平成29年度

業種 \ 区分	対象施設数	監視施設数	監視率
理容所	58	12	20.7%
美容所	106	13	12.3%
クリーニング所	19	2	10.5%
公衆浴場	12	4	33.3%
興行場	2	1	50.0%
旅館営業	76	26	34.2%
合計	273	58	21.2%

*洗濯を行っている施設のみ対象

*対象施設数は、平成28年度末の施設数

(3) 衛生講習会実施状況(平成29年度)

消毒講習(理容所、美容所) 3回 受講者72名

レジオネラ講習(公衆浴場、旅館等) 1回 受講者23名

施策145 食の安全・安心の確保

基本事業14501 食の安全・安心の確保

(主担当：衛生指導課)

取組内容

- 1 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
- 2 講習会を開催し、食品衛生、食品表示等に関する正しい知識の普及啓発に努めます。

1 食品衛生

食品監視指導に関する基本方針に基づき、年間を通じて計画的な監視と食品の収去検査を実施しました。

食品取扱者及び消費者に対して衛生講習を行うなど、食品衛生思想の普及啓発に努めるとともに、営業者の自主衛生管理を推進し、食中毒の予防に努めました。

(1) 食品関係営業施設数

平成29年度

区分	業種	施設数	監視指導施設数
許 可	飲食店営業	446	211
	菓子製造業	76	42
	乳処理業	0	0
	乳製品製造業	0	0
	魚介類販売業	106	60
	魚介類せり売り業	2	1
	魚肉ねり製品製造業	2	1
	食品の冷凍冷蔵業	0	0
	びん詰かん詰製造業	6	5
	喫茶店営業	40	17
	アイスクリーム類製造業	12	11
	乳類販売業	87	55
	食肉処理業	10	7
	食肉販売業	77	51
	食肉製品製造業	0	0
	みそ製造業	5	4
	しょうゆ製造業	1	0
	ソース類製造業	0	0
	酒類製造業	2	0
	豆腐製造業	2	0
	めん類製造業	2	0
	そうざい製造業	11	12
	清涼飲料水製造業	4	5
	冰雪製造業	0	0
	冰雪販売業	3	1
	小計	894	483
届出	集団給食施設	71	16
	食品製造業	134	38
	その他販売業	324	30
	小計	529	84
合計	1,423	567	

(2) ランク別監視状況

各業種毎に、過去の食中毒の発生頻度や、製造・販売される食品の広域性、営業の形態などを考慮して監視の重要度をランク分けし、このランク毎に監視頻度を設定して立入検査を実施しました。

平成29年度

区分		監視実績
Aランク 2回以上/年	対象施設	21
	監視件数	57
	監視率	135.7%
Bランク 1回以上/年	対象施設	55
	監視件数	63
	監視率	114.5%
Cランク 1回以上/5年	対象施設	1347
	監視件数	447
	監視率	165.9%
計	対象施設	1423
	監視件数	567

*対象施設は平成29年度当初の施設数

(3) 食品収去検査結果

平成29年度

検体	品目	収去検体数	不良検体数	不良検体数内訳	
				理化学検査	細菌学検査
	乳及びその加工品	0	0	0	0
	肉・卵及びその加工品	4	0	0	0
	魚介類及びその加工品	4	0	0	0
	青果穀類及びその加工品	12	0	0	0
	菓子類	7	0	0	0
	冷凍食品	0	0	0	0
	その他の食品	102	6	0	6
	器具及び容器包装	0	0	0	0
	おもちゃ	0	0	0	0
	施設内設備拭き取り検査	15	0	0	0
	合 計	144	6	0	6

(4) 食品衛生月間等における啓発事業の実施

ア 街頭啓発（パンフレット等資材の配布）

【1回目】 実施日：平成29年8月8日 場所：イオン熊野店、オークワ熊野店

【2回目】 実施日：平成29年8月14日 場所：鬼ヶ城センター、ウミガメ公園

【3回目】 実施日：平成29年11月27日 場所：イオン熊野店、オークワ熊野店

イ 専門家による講習会の開催

【1回目】 実施日：平成29年7月4日 受講者数：52名

講 師：株式会社イムテス 山口 久美 氏

内 容：中小規模のHACCP導入～基礎と理解～

【2回目】 実施日：平成29年11月15日 受講者数：71名

講 師：サラヤ株式会社 長坂 千佳 氏

内 容：ノロウイルス食中毒・感染症の防止対策

(5) 食品衛生講習会の開催状況

食品関係営業施設等からの依頼に応じた衛生講習会を開催しました。

また、食品表示法（平成27年4月1日施行）に基づく表示方法に関する事業者向け講習会を健康増進課と合同開催しました。

平成29年度	開催回数	受講者数
	38	640

(6) 食中毒の発生 平成29年度 0件

(7) 調理師試験合格者数

平成29年度

出願者	受験者	合格者	合格率
11	10	7	70.0%

施策146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
 基本事業14601 感染予防のための普及啓発の推進
 (主担当：健康増進課)

取組内容

地域や施設等における感染症を予防するために、県民に予防対策を啓発するとともに、感染症情報システムを活用した情報提供を行います。

1 結核・感染症発生動向調査事業

(1) 事業目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に関する情報をコンピューターオンラインシステムにより迅速に収集・解析し、県民・医療関係者等への還元を行います。

(2) 5類定点把握感染症報告医療機関数

ア インフルエンザ定点	2 機関
イ 小児科定点	1 機関
ウ 眼科定	1 機関
エ 基幹定点	1 機関
オ STD定点	1 機関

(3) 感染症発生届件数（結核除く） 平成29年1月1日～12月31日

分類	疾患名	発生件数
1類	—	0件
2類	—	0件
3類	—	0件
4類	日本紅斑熱	1件
5類（全数）	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
5類（定点）	インフルエンザ	187件
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14件
	感染性胃腸炎	83件
	水痘	4件
	手足口病	20件
	突発性発しん	12件
	ヘルパンギーナ	13件
	流行性耳下腺炎	26件
	RSウイルス感染症	5件
	無菌性髄膜炎	2件
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1件
	マイコプラズマ肺炎	1件
	性器ヘルペスウイルス感染症	1件
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	39件

(4) 病原体検査実施件数

日本紅斑熱疑い 6件

基本事業14602 感染症危機管理体制の整備

(主担当：健康増進課)

取組内容

新型インフルエンザや中東呼吸器症候群（MERS）等の発生すると社会的影響の大きい感染症に備え、関係機関との訓練を行い、防疫体制の強化を図ります。

1 防疫対策事業

(1) 事業目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の発生を防止するとともに、まん延防止のために必要な措置を講じ、公衆衛生の向上を図ります。

(2) 入院勧告実施件数（結核除く） 平成29年度

	法第19条	法第20条
1類感染症	0件	0件
2類感染症	0件	0件

(3) 入院勧告を受けた患者に対する患者に対する医療費の公費負担状況（結核除く）

平成29年度

	新規申請	継続申請	計
申請件数	0件	0件	0件
承認件数	0件	0件	0件

(4) 行政検査実施状況（結核除く）

平成29年度

		医療機関 依頼	家族及び 接触者	菌陰性化 確認	計
1類感染症		0件	0件	0件	0件
2類感染症		0件	0件	0件	0件
3類感染症	コレラ	0件	0件	0件	0件
	細菌性赤痢	0件	0件	0件	0件
	腸管出血性大腸菌感染症	1件	0件	0件	1件
	腸チフス	0件	0件	0件	0件
	パラチフス	0件	0件	0件	0件
4類感染症		0件	0件	0件	0件
5類感染症 (感染性 胃腸炎)	ノロウイルス	0件	0件	0件	0件
	ロタウイルス	0件	0件	0件	0件
	サポウイルス	0件	0件	0件	0件
計		1件	0件	0件	1件

(5) 検疫対応状況

検疫通報件数 0件

(6) 社会福祉施設、医療機関等における感染症等発生報告

発生報告日	終息報告日	所在地	感染症
平成30年1月16日	平成30年1月30日	熊野市	インフルエンザ
平成30年1月25日	平成30年2月5日	熊野市	インフルエンザ
平成30年2月7日	平成30年2月21日	紀宝町	感染性胃腸炎

(7) 新型インフルエンザ等対策訓練

ア 開催日時

平成30年1月18日(木) 13時30分～16時00分

イ 開催場所

- ①尾鷲総合病院
- ②紀南病院組合立 紀南病院

ウ 訓練内容

- ①一般医療機関から保健所への新型インフルエンザ等疑似症患者発生報告。
- ②保健所による感染拡大防止のための新型インフルエンザ等疑似症患者調査。
- ③一般医療機関から第2種感染症指定医療機関への疑似症患者搬送。
- ④第2種感染症指定医療機関の感染症患者受入。

エ 参加機関

- ①尾鷲総合病院
- ②紀南病院組合立 紀南病院
- ③三重県尾鷲警察署
- ④三重県熊野警察署
- ⑤三重県紀宝警察署
- ⑥三重県尾鷲保健所
- ⑦三重県熊野保健所
- ⑧三重県健康福祉部薬務感染症対策課

基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見、早期治療のため、接触者健診及び結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策

(1) エイズ相談及びHIV抗体検査等実施状況 平成29年度

	男	女	計
相談件数	10	1	11
検査件数	3	0	3

(2) エイズ地域特別対策事業（エイズ予防啓発）

開催日	参加人数	実施対象	内容
平成29年 12月6日	68名	管内思春期 支援者	エイズ地域特別対策事業研修会 「障がいを抱える子どもたちに伝える性 ～思春期の性的な興味・関心に対する支援～」 講師：特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター 徳永桂子先生
5月10日	10名	木本高校定時制 木本高校1年生 紀南高校1年生	エイズ・性感染症について 講師：熊野保健所 保健師
6月19日	184名		
12月12日	99名		
12月1日 ～6日	400名 130名	高校生等 一般住民	JR熊野市駅及び熊野市内商業施設にてエイズデー 街頭啓発実施 県熊野庁舎での啓発

(3) 特定感染症検査

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、ウィルス肝炎検査を推進することで、これらの感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

平成29年度

		男	女	計
梅毒	相談件数	5	0	5
	検査件数	2	0	2
B型肝炎	相談件数	4	0	4
	検査件数	3	0	3
C型肝炎	相談件数	4	0	4
	検査件数	3	0	3

2 結核対策事業

当管内の結核り患率は県内と比較して特に高齢者で高く、喀痰塗抹陽性等、重症化して発見されるケースも多く見られます。そこで、引き続き高齢者に重点を置いた啓発活動を強化し、患者の早期発見、早期治療に繋げることにより感染防止を図ります。

(1) 結核患者登録状況

ア 新登録患者数（活動性分類・性・年齢階級別） 平成29年1月1日～平成29年12月31日

		活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性結核感染症
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺外結核活動性	
			総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				総数	初回治療	再治療				
総 数	総数	11	10	4	4	-	6	-	1	-
	男	4	4	1	1	-	3	-	-	-
	女	7	6	3	3	-	3	-	1	-
0～4 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	総数	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	1	1	-	-	-	-	-
30～39 歳	総数	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	1	-
40～49 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70 歳以上	総数	9	9	3	3	-	6	-	-	-
	男	4	4	1	1	-	3	-	-	-
	女	5	5	2	2	-	3	-	-	-
年齢不詳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-

イ 市町別結核新登録患者の状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日 (単位:人)

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他			
	総数	総数	初回治療	再治療					
総数	11	10	4	4	-	6	-	1	-
熊野市	6	6	1	1	-	5	-	-	-
御浜町	3	2	1	1	-	1	-	1	-
紀宝町	2	2	2	2	-	-	-	-	-

ウ 過去5年間における市町別結核罹患率

	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率
総数	7	18.1	8	21.0	3	8.0	9	24.5	11	30.5
熊野市	4	21.4	5	27.7	1	5.8	6	35.2	6	35.8
御浜町	2	11.0	1	11.2	2	22.9	2	23.1	3	35.6
紀宝町	1	35.0	2	17.8	-	-	1	9.0	2	18.4

エ 平成29年末現在市町別結核登録患者数

平成29年12月31日現在

	活動性結核										(別掲) 潜在性結核感染症		
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明			
		総数	喀痰塗抹陽性			登録時 その他の結核菌陽性	登録時 菌陰性・その他						
	総数	総数	初回治療	再治療								治療中	観察中
総数	12	5	4	1	1	-	3	-	1	7	-	-	-
熊野市	5	2	2	-	-	-	2	-	-	3	-	-	-
御浜町	5	3	2	1	1	-	1	-	1	2	-	-	-
紀宝町	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-

オ 平成29年末現在結核登録患者数(活動性分類・治療状況別)

平成29年12月31日現在

	活動性結核										(別掲) 潜在性結核感染症		
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明			
		総数	喀痰塗抹陽性			登録時 その他の結核菌陽性	登録時 菌陰性・その他						
	総数	総数	初回治療	再治療								治療中	観察中
総数	12	5	4	1	1	-	3	-	1	7	-	-	-
入院中	3	3	3	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
外来(他疾患入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来(通院)	2	2	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
治療なし	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 管理及び家族・接触者健康診断実施状況

平成29年度 (単位:人)

	受診者数 (実人員)	ツベルクリン 反応検査	直接撮影	QFT検査	喀痰検査	発病のおそれがある者	結核患者
管理検診	1	-	1	-	-	-	-
家族検診	11	-	9	2	-	-	-
接触者検診	40	-	14	26	-	-	-

(3) 結核対策特別促進事業実施状況

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、服薬確認法（DOTS）推進のために医療機関や地域の関係機関との連携強化を図り、管内結核患者の治療完了を徹底するとともに、再発及び薬剤耐性菌の出現を防止します。

ア 訪問DOTS延べ件数 29件

イ 結核の知識普及・啓発

庁舎を訪れる住民に対し、結核予防知識の普及を図った。

日 時：平成29年9月22日～10月3日

場 所：県熊野庁舎

内 容：結核予防コーナーにてポスターの掲示、パンフレットの設置

3 結核医療

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第37条及び37条の2に基づき、結核患者の医療費を負担し、適正医療の普及を図る。

(1) 保険者別公費負担状況（法第37条及び法第37条の2）

平成29年度

	被 保 険 者		国 保	後 期 高 齢 者	生 保	そ の 他	計
	本 人	家 族					
申 請 件 数	6	-	5	32	-	-	43
承 認 件 数	6	-	5	32	-	-	43

(2) 入院勧告患者の異動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日（単位：人）

28年末 現 在	増			減						29年末 現 在	
	新規	転入	計	治ゆ	軽快	死亡	自己 退院	転出	そ の 他		計
-	8	-	8	-	6	1	-	-	-	7	1

(3) 法第37条の規定による公費負担状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

平成28年末	新 規 件 数	継 続 件 数	解 除 件 数	平成29年末
-	8	14	7	1

4 結核健康診断補助金

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第60条に基づき、結核患者の早期発見、予防を図るため、集団生活を営む学生・社会福祉施設入所者に対し、施設の長が行う定期健康診断を行うために必要な経費の一部を補助する。

(1) 補助金申請施設数 2施設

(2) 補助金交付施設数 2施設

第2節 「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～

施策232 結婚・妊娠・出産の支援

基本事業23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

(主担当：健康増進課)

取組内容

- 1 母子保健サービスを促進するため、市町の取組を支援します。
- 2 長期療養児、思春期を対象とした専門的なサービスの提供や、小児慢性特定疾病医療費助成により適切な医療が受けられるよう支援を行います。

1 母子医療給付事業

(1) 小児慢性特定疾病医療費支給認定(市町別・疾病別給付状況) 平成29年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
悪性新生物	7	2	1	10
慢性腎疾患	1	0	1	2
慢性呼吸器疾患	0	0	0	0
慢性心疾患	2	0	3	5
内分泌疾患	4	2	5	11
膠原病	0	1	0	1
糖尿病	3	0	0	3
先天性代謝異常	0	0	1	1
血液疾患	0	1	0	1
免疫疾患	0	0	0	0
神経・筋疾患	0	0	0	0
慢性消化器疾患	0	0	0	0
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	0	0	0	0
皮膚疾患群	0	0	0	0
計	17	6	11	34

(2) 特定不妊治療費助成事業 (市町別給付状況延べ件数) 平成29年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
件数	14	8	7	29

2 健やか親子支援事業

(1) 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

ア 長期療養児等への家庭訪問 1 件

イ のびのび療育相談（肢体不自由児巡回相談）

月 日	場所	スタッフ	受診者数
平成 29 年 6 月 16 日	紀南病院 すこやかルーム	三重県子ども心身発達医療センター （医師・看護師・PT・ST） 紀南病院（看護師・PT） 熊野保健所（保健師）	20 名
平成 29 年 8 月 25 日			21 名
平成 29 年 11 月 24 日			21 名
平成 30 年 3 月 2 日			23 名

(2) 思春期保健

ア 健康教育

月 日	対象	内容	参加者数
平成 29 年 6 月 12 日	管内中学校、高等学校、特別支援学校 生徒、教員、関係者	性感染症予防	10 名
平成 29 年 6 月 19 日		性感染症予防、デートDV	184 名
平成 29 年 12 月 6 日		性感染症予防	78 名
平成 29 年 12 月 12 日		性感染症予防、デートDV	99 名
平成 30 年 2 月 20 日		性感染症予防	21 名

イ 電話相談 15 件

(3) 母子保健体制の整備

紀南地域母子保健医療推進協議会への参加

代表者会議 1 回
 実務委員会 1 回
 連絡会議 2 回
 継続ケアワーキング 2 回
 事務局会議 8 回
 打ち合わせ 4 回
 講演会 1 回

(4) 児童相談所との連携

要保護児童対策地域協議会への参加 9 回

保健所年報（平成 30 年度版）

三重県熊野保健所

〒519-4324 三重県熊野市井戸町 383 番地

電話 0597-85-2158（代表番号）

E-mail khoken@pref.mie.lg.jp